

大阪市を廃止する「都」構想に反対

住民サービス切り必至

テレビ討論 山中党市議団長が主張



討論する山中(右)、松井の両氏—28日、朝日放送のYouTubeチャンネルから

大阪市を廃止し四つの特別区に分割する「大阪都」構想の住民投票(10月12日告示、11月1日投票)をめぐり、朝日放送テレビ「キャスト」は28日、討論番組を生放送し、日本共産党、大阪維新の会、自民党、公明党の代表者が議論しました。共産党から山中智子大阪市議団長が出演しました。

山中氏は、大阪市を四つの特別区に分割すると、行政運営の経費が今より増大するにもかかわらず、国からの地方交付税に増大分は反映されないと指摘。「収入は減るのにコストは増えるので、住民

28日放送の情報番組「キャスト」朝日放送)で、松井一郎大阪市長が「大阪都」構想をめぐり、大阪府外に住む出演者に対し「府民じゃないなら分らない」と暴言を吐き、議論から排除しようとする一幕がありました。

「府民じゃないなら分らない」 松井市長 議論排除の暴言

松井氏が血相を変えたのは、番組レギュラーの三輪記子弁護士が質問した場面。大阪府を廃止して設置される四つの特別区への財源配分について、「少ないパイを奪い合う構造になるのではないか」などと投げかけた三輪氏に対し、松井氏は唐突に「府民なんですか、市民なんですか」と詰問し始めました。三輪氏が「大阪府民ではない」と答えると、松井氏は「じゃあ分かってないじゃないですか」「大阪のこと分かってないのに恣意(じ)的な発言はやめて」と、発言を封じようとした。

三輪氏の発言を再三遮り、指をさして迫る松井氏。たまたま、コメントのコーナーの木原善隆氏が「府民以外の方も見ているので、府民以外なら分らない」というのはちょっと問題がある」と指摘。司会の上田剛彦アナウンサーも「大阪市民でも知らない人はいるかもしれない」と答えない。市民の一部も排除してしまうことになるので、あまりそういう言い方はしない方がいい」とたしなめされた。

調。「保健所四つ分のお金が来ないので、人材や財源がなくなると警告し、豊かな財源と権限をもった政令市であってこそ、保健所の体制や数を拡充し、専門性も担保できると述べました。

山中氏は、バブル崩壊前に抱えた大きな負債は返済の見通しが立っており、「大阪市廃止のような無駄なことをしなければ、ほっと息つく。この力で増やしていくべきだ」と力を込めました。

住民サービスについて司会者は、「協定書(大阪府廃止の制度案)の中には、特別区の設置の際は維持する」と書かれている。ただ、「設置の日以後は『維持するよう努め』とある」と解説しました。